ふくいスポーツぷらざ

国際大会に出場する（左から）小川、前田、川上、前川の各選手＝美浜町総合運動公園野球場

県勢5人 選抜チーム入り

中学硬式野球国際大会

吉田選手

中学硬式野球の国際大会「2023台北U15招待トーナメント（台北市長杯国際野球大会）」（12月23～27日・台湾）に出場する日本リトルシニア協会東海連盟の選抜2チームのメンバーに、福井県勢から5人が初選出された。

選ばれたのは福井永平寺の前田官九郎捕手（丸岡南3年）、吉田大翼内野手（陽明3年）、福井嶺北の前川快斗投手（足羽一3年）、小川礼斗外野手（成和3年）、嶺南敦賀の川上梗介内野手（粟野3年）。8月の選考会を経て選出された。前川投手と川上内野手は「東海・豊田」で、前田捕手、吉田内野手、小川外野手は「東海・名古屋」でプレーする。

強肩の前田捕手は打撃面でも小技があり、走塁にも自信を持つ。吉田内野手は走攻守いずれも能力が高い選手。前川投手は130㌔超の直球で押し、窮地にも動じない度胸が武器。小川外野手はアベレージヒッターで長打力もある。川上内野手は好機に強く、パワーのある打撃で得点を挙げたい。

打力のある小川外野手や川上内野手は「打撃の個人賞を取り、チームに貢献したい」と意気込む。ほかの選手も「中学最後の大会で優勝したい」「海外で野球ができることに感謝してプレーしたい」と抱負を語った。

大会には東海連盟からは2チーム計32人を派遣。東海・名古屋コーチとして畑和来さん（福井永平寺）が参加する。

（土生仁巨）

©福井新聞　無断複製・転載を禁じます